

女子選手数倍増計画

2015 年度に 1 チームだった女子チームが 2019 年度は 3 チームに。選手数は小学生では増えているが、中学生は伸び悩んでいる。スクール・トレセン・なでしこ広場は活性化した。



小学校 5・6 年と中学生の女子選手数を、2 年で倍増、5 年で 3 倍、10 年で 4 倍にする計画であるが、小学 5・6 年生は 2019 年度現在で 36 名と 1.8 倍になった。3・4 年生が 26 名であるので、計画通りではないが、増加傾向であることには違いない。日本の 15 歳未満の人口が前年比約 1% 減少している昨今の少子化の現状を考える

と着実な進歩といえるが、中学生の継続・新規登録は伸び悩んでいる。

2015 年度、女子チームは北見 1 だけだったが、2019 年度現在、北見 2、網走 1 の計 3 チームになった。今後は遠紋エリアでの創設を目指す。また、中学生年代を活性化させるために、3 種クラブの女子部門や女子サッカー部の創設を目指して

いるが、網走の取組に注目するとともに、北見でも創設を目指していききたい。創設を後押しする制度も活用していききたい。

ガールズサッカースクール・トレセン・なでしこ広場はこの 5 年でかなり活性化した。しかし、それに関わるスタッフ・指導者・は不足している。人材発掘と育成にも力を入れていききたい。

	2015	2016	2017	2018	実数 36	2019	2020	2025
小学校 5・6 年	20		40			60		80
中学生	25		50			75		100
強化計画	U-12 道内遠征として実施		女子トレセン U-12 道外遠征スタート		女子トレセン U-14 道外遠征スタート		実数 21	

※小学生は 4 種登録、中学生は女子登録と 3 種登録の合計

施設の充実

オホーツク地区は良好な芝のピッチが数多くある。遠軽に引き続き斜里でも人工芝ピッチの造成が検討されている。網走市は総合体育館でフットサルが行えるようになった。今後も各地で屋内外施設の充実を目指す。



2019 年度のフェイスブックページの写真をみると、えんがる球技場(人工芝 2 面)の写真が非常に多いことがわかる。天然芝の充実しているオホーツク地区であるが、人工芝の造成によってますますサッカー環境が

整ってきている。

一方で、屋内施設の充実はまだこれからである。北見協会は市への陳情と寄付を続けているので、1 年でも早く実現されることを願う。美幌町では人工芝屋内施設が 2020 年

秋から供用開始とのことであり、その波が地区全域に見られるようになることを願う。協会としては、行政に頼るばかりでなく、民間にも広く積極的に働きかけて、冬季のサッカーやフットサル環境を整えていきたい。

みんなつながっている



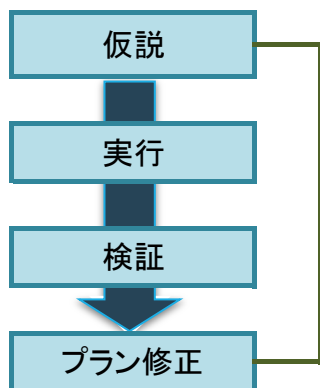
これまで述べてきた重点課題のほかに、ベースとなる活動をさらに組織的かつ発展的に進めていきたい。

各カテゴリーは、このプランの実行・検証・修正に取り組んできた。手応えを得ている活動がある一方で、まだまだ不十分な部門があるのも事実である。また、各市町協会の活動の情報共有に力を入れたことによって、地区と市町村、市町村どうし、市町村と各専門委員会の相互交流が活発になった。しかし、6 市町協会すべての活動の充実と緊密な情報共有のためには、まだまだ組織の成熟に至るまでの時間が必要である。

2016 年に立ち上げた facebook ページは、情報の即時共有に大いに役立っている。ホームページとともに今後も活用していきたい。

オホーツク地区サッカー協会

facebook



各専門委員会・市町協会等で、より具体的なプランを練る。プランをもとに、どうやったら実現できるか仮説を立てる。

プレイヤーズファーストを基本に、組織的に実行する。データの収集に努め、信念を持って進める。常に情報の共有を図る。

データを分析する。アンケート結果や現場の声を大切にしつつ、アンテナを高くしてアイデアを探す。

良いものは続ける。効果の上がらないものは廃止または軌道修正する。タイミングを図る。人材の有効活用を図る。失敗を成功に変える。

OKFA サッカーファミリーを 2025 年までに 1.3 倍にする。

サッカー選手数 2015 年 2,330 名 → 2025 年 3,030 名

フットサル選手数 2015 年 204 名 → 2025 年 270 名

他にも、指導者・審判・施設管理者・ファンなどサッカーに関わるすべての人々がサッカーファミリー

この 5 年の経過と今後の競技人口推移の予測を考えると、この数字を達成するのは容易なことではない。登録選手数・チーム数として表れる数値は、取組を評価するための一つのデータとしてとらえていきたい。

これまで、北海道協会ではファミリー数を様々な角度からカウントしてきたが、今後はそのカウントの仕方を見直すという情報もあるので、その動向を注視しつつ、オホーツク地区として、サッカーに関わる仲間をどう増やし広げていくかも模索していきたい。最も大切なことは、サッカー・フットサルを心から楽しめる環境を維持・向上・改善していくことである。



OKFA16→25 プラン 実行委員会
実行委員会＝常任理事会＋サッカーファミリー

2020 年 度 会 計 予 算 (案)

オホーツク地区サッカー協会

収 入

項 目	前年度決算	予 算	対 比	内 訳
繰越金	398,424	384,687	△ 13,737	
登録料	2,068,400	2,050,000	△ 18,400	オホーツク地区サッカー協会 登録料
道協会交付金	748,400	456,900	△ 291,500	H31(公財)北海道サッカー協会交付金
道協会特別補助金	990,000	990,000	0	地区主催大会支援59万 地区トレセン支援20万 事務局支援費20万
その他	300,000	200,000	△ 100,000	広告料(さかきばら泌尿器科100,000) 広告料(アートホーム50,000、第一工業50,000)
利息	13	413	400	利息等
合計	4,505,237	4,082,000	△ 423,237	

支 出

項 目	前年度決算	予 算	対 比	内 訳
事務局費	204,828	110,000	△ 94,828	事務用品 15,000 印刷発注 64,000 道協会役員費 21,000 その他 10,000
通信費	110,926	140,000	29,074	送料 20,000 振込手数料 20,000 インターネット回線 70,000 携帯電話 30,000
事業費	400,000	400,000	0	道東リーグ補助 50,000 社会人連盟補助 180,000 2種FAリーグ補助 60,000 社会人選抜大会補助 50,000 地域協会事業補助 60,000
事業委員会費	2,100,000	2,100,000	0	第1種 10,000 第2種 60,000 第3種 60,000 第4種 60,000 審判 10,000 技術 1,570,000 フットサル 30,000 女子 50,000 シニア 30,000 キッズ 10,000 情報 210,000
OKFA16→25 プラン事業	590,000	590,000	0	
旅費	117,820	120,000	2,180	常任理事会 100,000 規律・フェアプレー委員会 5,000 役員会議 5,000 その他 10,000
会議費	246,488	250,000	3,512	常任理事会 20,000 規律・フェアプレー委員会 5,000 総会 210,000 その他・役員会議 15,000
負担金	145,000	145,000	0	道東ブロック協議会負担金 145,000
積立金	50,000	50,000	0	PC購入積立金 50,000
事務局手当	140,000	140,000	0	事務局長 60,000 事務局次長 30,000 会計 50,000
記念費	10,725	10,000	△ 725	表彰者・功労者
慶弔費	604	10,000	9,396	弔電・祝儀
予備費	4,159	17,000	12,841	
合計	4,120,550	4,082,000	△ 38,550	

第5号議案

オホーツク地区サッカー協会

役職名		氏名
名誉会長		五十嵐洋征
顧問		
会長	(公財)道協会評議員兼務	榊原 尚行
副会長	(社会人連盟会長)	蝦名 達雄
		國田 英一郎
		松井 雅弘
		佐藤 唯人
評議員	(斜里協会会長)	毛利 剛
	(北見協会会長)	小西 茂
	(紋別協会会長)	大原 和明
	(美幌協会会長)	柏葉 良一
	(網走協会会長)	中村 信
	(遠軽協会会長)	
理事長	(公財)道協会理事兼務	中田 孝一
副理事長	(ファミリー拡大)	森田 直弘
		斎藤 正倫
常 任 理 事	(第1種委員長)	鈴木 紘介
	(第2種委員長)	佐藤 雄一郎
	(第3種委員長)	工藤 雅人
	(第4種委員長)	横井 和美
	(女子委員長)	藤森 静
	(審判委員長)	加藤 厚司
	(審判副委員長)	工藤 雅人
	(技術委員長)	菊池 豪
	(技術副委員長)	斎藤 正倫
	(フットサル委員長)	伊藤 裕之
	(シニア委員長)	橋本 宏行
	(キッズ委員長)	中村 淳司
	(情報委員長)	山岸 克成
	(斜里協会)	門間 哲也
	(網走市協会)	橋本 宏行
	(美幌協会)	林 仁
	(北見協会)	澤田 篤樹
	(北見協会)	斉藤 正和
	(遠軽協会)	斎藤 隆雄
	(紋別協会)	小野 秀幸
事務局	(事務局長)	美村 嘉幸
	(事務局次長)	
	(会計)	
監査委員		天野 哲也
		村井 正英

東北海道サッカー協会

会長	榊原 尚行
専務理事	國田 英一郎
事務局長	美村 嘉幸
会計	

【補足説明】

役員選考委員会により提出された案です。地区協会の会長・副会長・理事長・副理事長について承認願います。他の役員は3月27日現在で地区協会として把握しているお名前です。

また、東北海道サッカー協会については、第6号議案にて承認された場合、オホーツク地区からこの3名を選出して担務いたします。